

Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2005年12月19日～) 発表日: 2005年12月19日 (月)
 ～実質短期金利マイナス通貨の上昇余地は小さいが・・・～ (No. MW-42)

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
12月19日 (月)	日本	月例経済報告					
12月20日 (火)	欧州	欧貿易収支 (10月)		+70	▲250～+440	+140	百万ユーロ・季調値
	米国	住宅着工 (11月)	★	201.5	195.0～215.0	201.4	万戸
		生産者物価 (11月)・最終財 同コア (11月)	★★	▲0.3% +0.2%	▲1.0～+0.2% ▲0.2～+0.7%	+0.7% ▲0.3%	前月比 前月比
12月21日 (水)	日本	2年債入札 日銀金融政策決定会合議事要旨 (10/31・11/17-18)	★				
	欧州	英MPC議事録 (12/4)					
	米国	北米半導体製造装置BBレシオ (11月)	★			0.95	倍
12月22日 (木)	日本	通関統計 (11月)・貿易収支 第3次産業活動指数 (10月) 福井日銀総裁講演	★★	+6,128 +0.7%	+1,790～+9,000 ▲0.3～+1.3%	+8,194 ▲0.7%	億円 前月比
	米国	景気先行指数 (11月) 個人支出 (11月) PCEデフレーター (11月)・コア	★	+0.4% +0.4% +1.8%	+0.1～+0.6% 0.0～+0.7% +1.7～+1.8%	+0.2% +0.2% +1.8%	前月比 前月比 前年比
12月23日 (金)	日本	祝日					
	米国	耐久財受注 (11月)・除輸送機器 新築住宅販売 (11月)	★★	+1.0%	+0.3～+1.4%	+0.6%	前月比
12月24日 (土)	日本	臨時閣議 (来年度政府予算案決定)	★	130.0	124.0～142.0	142.4	万戸

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種ベンダー調査に基づく
 注目度は筆者

今週の注目点

今週は、内外ともに重要指標の発表やイベントは少ない。加えて、週末にかけては欧米を中心にクリスマス休暇入りするため、商いも全般的に低調になろう。こうした状況下で注目されるのが、先週のマーケットで動意付いた為替市場である。先週一週間のドルの騰落状況を見ると、対円で前週末比▲4.1%下落したのをはじめ、対ユーロでは同▲1.7%と前週に続き続落した。このほか、対欧州通貨や対アジア通貨を中心にドルは下落した（一方、対米州通貨や対オセアニア通貨では上昇）。

ドル安のきっかけを作ったのは、米FOMCで予想通り利上げが行われたものの、声明文の内容が若干変更されたためである。すなわち、これまで使用された「慎重なペースでの緩和の解除」を、「慎重なペースでの引き締めが若干必要になる可能性が高い」と修正した。“緩和”との文言が外されたために、FRBの追加利上げはあと1回程度で終わるとの見方が強まり、実際に米債券市場では長期ゾーン中心に金利が低下した。こうした米利上げ打ち止め期待が、ドルの下落要因となった。一方で、ユーロ圏では今月初にECBが利上げを開始したばかりであり、ペースは緩やかにとどまるにせよ、利上げ余地は未だあることが、ユーロ高要因となっている。

これに対して円は、デフレ脱却（ここでは生鮮食品を除いたコアベースの全国消費者物価が前年対比でプラスに転換するという意）が確実な情勢下で、日銀は06年4月頃には量的緩和政策を解除するとの思惑が強い。一方で、ゼロ金利政策の解除、すなわち利上げに関しては、一時は“秋にも”と予想されていたものの、政府とのやりとりもあって先送りされるのでは、との見方が強まりつつある。そうなると、日本の実質短期金利はマイナスに転じた後、プラスへの転換が遅れる可能性が出てくることから、円はドルやユーロに対して強い減価圧力が生じるはずである。

こうしたファンダメンタルズが再評価されるようになれば、円の上昇には歯止めがかかると見込まれるし、

こうした状況下で円の上昇余地は限定的であると判断される。無論、先週の円高急伸の影に“仕掛け”的な動きがタイミング良く嵌ったとも指摘されている。これから取引が薄くなるだけに、要注意といえば要注意だ。

【債券市場】：図表は3～4ページ

先週は、主要国を中心に大半の国で長期金利は低下。短期ゾーンではまちまち。米FOMCでは声明文が若干変更され、利上げ完了は近いとの見方が強まった。日本では、短観のヘッドラインが予想を下回った上、先行きも比較的慎重な見方となっていたことも金利低下を促した。加えて、株価の調整も金利低下要因となった。今週は、経済指標では材料は少なめ。欧米ではクリスマス休暇入りすることから、特に週後半以降は高い閑散で、動きは鈍くならう。日本では来年度予算が決まるが、これまで報道されてきた内容などから、特に債券需給を悪化させるような内容とはならないことが織り込まれている。全般的にレンジ内での推移にとどまろう。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、全般的に底堅い推移。ただし、日経平均やナスダックなどは下落。原油価格の下落や米利上げ打ち止め感の台頭などが、株価押し上げ要因。日本では、短観発表を受け当面の買い材料が出尽くしたことに加え、円高の急伸もあって輸出関連株などを中心に調整傾向が強まった。今週は、欧米ではクリスマス休暇入りすることもある、閑散なマーケットとなろう。日本ではファンダメンタルズ面では特に材料無く、先週株価押し下げを演出した円高の動向がガギか。円高が一服するようであれば、前週後半の下げが大きかったこともあり、持ち直しが見られよう。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、ドルは日本を含めたアジア通貨や欧州通貨に対して下落した一方、米州通貨やオセアニア通貨に対しては上昇。FOMC声明文変更を受けて米利上げ打ち止めが近づいているとの見方が強まったことから、特に利上げモードに入ったばかりのユーロや、アジア通貨などに対してこれまでのドル高の流れが一変した。今週は、欧米でクリスマス休暇入りすることから、週末にかけて徐々に取引は閑散なものになると見込まれる。ファンダメンタルズ面での材料は少ないものの、特に円の継続的な上昇が裏付けられるような金利状況ではないため、円高は一服し、ややドル高方向へ持ち直すと見られる。ただし、取引が薄くなるだけに、仕掛け的な動きには変動幅も予想以上に大きくなる可能性があり要注意。

【商品市場】：図表は7ページ

先週は、穀物は上昇したものの、その他は原油を含め軒並み下落。原油相場は、米ヒーティングオイルの在庫増や年末にかけての気温上昇予報などを材料に、週末にかけて下落ピッチが増した。今週は、週末にかけて取引が薄くなると見込まれる中、方向感無く推移しよう。

[債券市場]

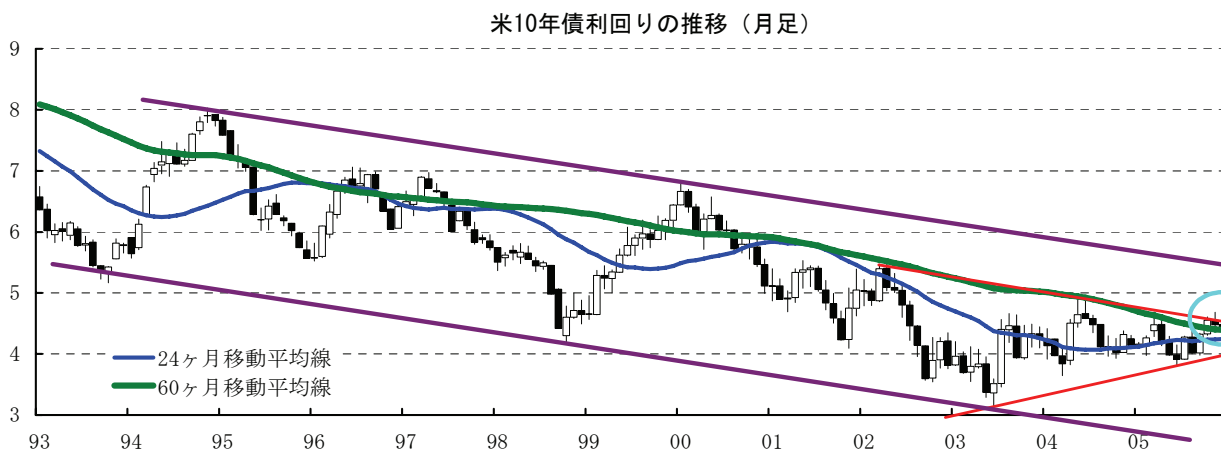
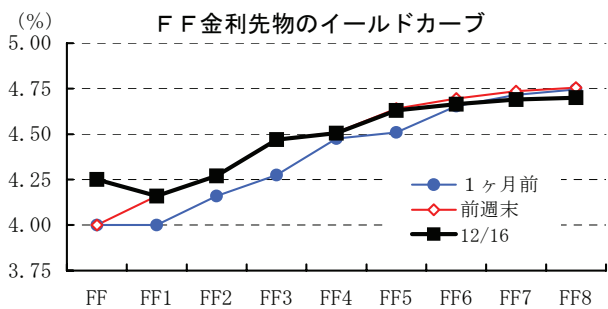
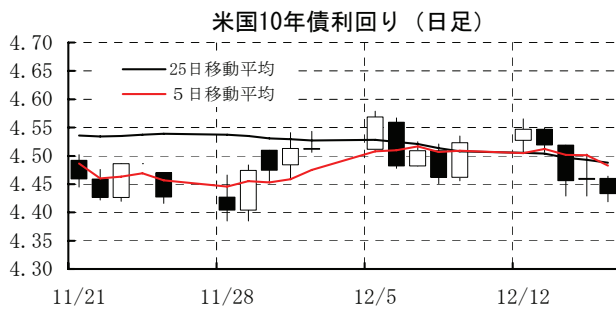
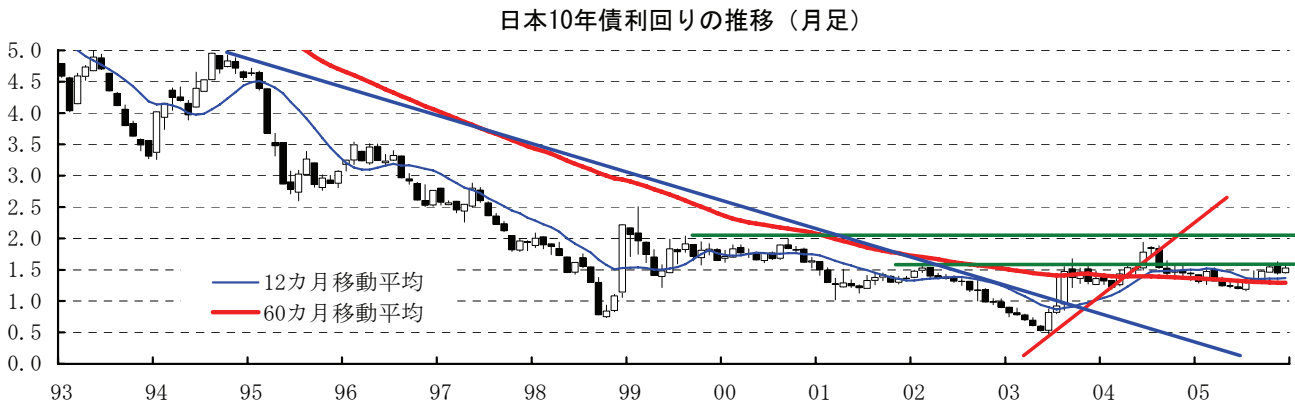
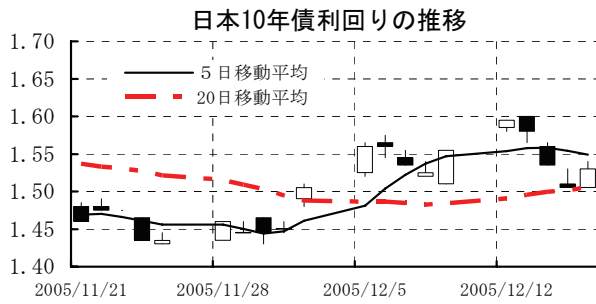
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前	
2年	日本	0.260	+17	▲1	+0	▲1	+4	+3	+9	+6	▲6	+1	+2
	米国	4.350	+137	▲4	▲5	+1	+38	▲20	+35	+21	+3	+7	▲2
	イギリス	4.365	▲7	+7	+0	▲24	+11	▲6	+9	+13	▲2	+4	+13
	ドイツ	2.829	+47	+16	+4	▲16	+23	▲5	+20	+24	+13	▲8	+15
	スイス	1.480	+49	▲3	▲9	▲12	+9	+5	+15	+31	+14	+5	▲1
	スウェーデン	2.534	+25	+22	▲2	▲32	+15	+9	+12	+6	+18	+7	+9
	ポーランド	4.663	▲179	▲9	▲22	▲55	+6	▲26	▲6	+45	+9	+10	+5
	カナダ	3.811	+90	+9	▲0	▲14	+21	▲4	+35	+28	+14	+10	+2
	メキシコ	7.749	▲85	▲46	▲10	▲28	+2	▲49	▲32	+6	▲25	▲1	▲25
	ニュージーランド	6.095	▲19	N.A.	N.A.	▲1	▲9	▲4	+22	+2	+68	N.A.	N.A.
	オーストラリア	5.293	+43	+0	▲4	▲4	▲1	▲12	+27	+6	▲7	▲1	+7
	韓国	5.011	+169	▲18	▲2	+34	+17	▲9	+46	+32	+21	+18	▲21
	シンガポール	2.760	+122	+8	+11	▲12	+7	+1	+28	+12	+24	+1	▲1
	タイ	4.215	+150	▲56	▲22	+11	+41	+29	+16	+95	▲23	▲4	+2
インド	6.192	+22	+5	+4	+3	▲8	+5	+5	▲2	+3	▲2	+3	
10年	日本	1.530	+18	+3	▲2	▲9	+14	+3	+14	+7	▲10	+7	+5
	米国	4.433	+25	▲4	▲9	▲16	+36	▲26	+31	+23	▲7	+8	+1
	イギリス	4.239	▲23	+3	▲9	▲22	+14	▲16	+13	+5	▲10	+3	+11
	ドイツ	3.345	▲23	▲8	▲10	▲20	+11	▲14	+5	+24	+6	▲3	+5
	スイス	2.097	▲11	▲6	▲7	▲4	▲2	▲7	+1	+22	+6	▲2	+2
	スウェーデン	3.324	▲50	▲3	▲13	▲26	+6	▲6	+5	+24	+10	+4	+8
	ポーランド	5.197	▲87	▲13	▲12	▲45	+23	▲17	▲2	+60	+2	+0	+12
	カナダ	4.017	▲26	▲8	▲12	▲22	+12	▲8	+18	+20	▲11	+7	+5
	メキシコ	8.296	▲153	▲43	▲1	▲21	+4	▲63	▲24	+32	▲32	▲3	▲22
	ニュージーランド	5.795	▲12	▲18	▲9	+3	▲1	▲7	+23	+8	▲11	+4	+2
	オーストラリア	5.285	+16	▲15	▲10	▲7	+2	▲8	+32	+12	▲10	▲3	+2
	韓国	5.520	+169	▲37	▲3	+45	+23	▲19	+28	+43	+21	+12	▲26
	シンガポール	3.350	+76	+15	+5	▲1	+0	+20	+3	+18	+19	▲6	+8
	タイ	5.706	+96	▲84	▲21	▲33	+60	+32	+40	+124	▲52	+9	▲5
インド	7.098	+39	▲0	▲1	▲13	+8	+12	+0	+1	▲2	+3	+1	
長短スプレッド	日本	+127.0	+1	+4	▲2	▲8	+10	+1	+5	+1	▲4	+6	+3
	米国	+8.3	▲112	+0	▲4	▲17	▲2	▲6	▲4	+2	▲10	+2	+3
	イギリス	▲12.6	▲16	▲4	▲9	+3	+4	▲9	+4	▲8	▲9	▲2	▲3
	ドイツ	+51.6	▲70	▲25	▲14	▲4	▲12	▲9	▲15	+1	▲7	+4	▲10
	スイス	+61.7	▲60	▲3	+2	+8	▲11	▲12	▲13	▲9	▲8	▲6	+3
	スウェーデン	+79.0	▲75	▲25	▲11	+6	▲9	▲15	▲7	+18	▲8	▲3	▲1
	ポーランド	+53.4	+92	▲5	+10	+9	+17	+10	+4	+15	▲7	▲10	+7
	カナダ	+20.6	▲117	▲17	▲12	▲8	▲9	▲4	▲17	▲7	▲25	▲3	+3
	メキシコ	+54.7	▲68	+3	+9	+7	+2	▲14	+8	+26	▲7	▲2	+3
	ニュージーランド	▲30.0	N.A.	N.A.	N.A.	+4	+8	▲3	+1	+7	▲78	N.A.	N.A.
	オーストラリア	▲0.8	▲27	▲15	▲6	▲3	+3	+4	+4	+6	▲3	▲2	▲5
	韓国	+50.9	▲1	▲19	▲1	+12	+6	▲10	▲18	+12	+0	▲6	▲5
	シンガポール	+59.0	▲46	+7	▲6	+11	▲7	+19	▲25	+6	▲5	▲7	+9
	タイ	+149.1	▲55	▲27	+2	▲44	+20	+3	+24	+29	▲29	+13	▲7
インド	+90.6	+16	▲5	▲5	▲16	+15	+7	▲5	+2	▲5	+5	▲2	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化幅(例：4週間前=4週間前の週間変化幅、6カ月前=6カ月前の月間変化幅)を示す。

直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。

網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。

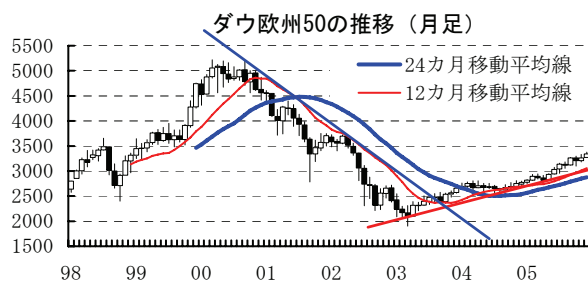
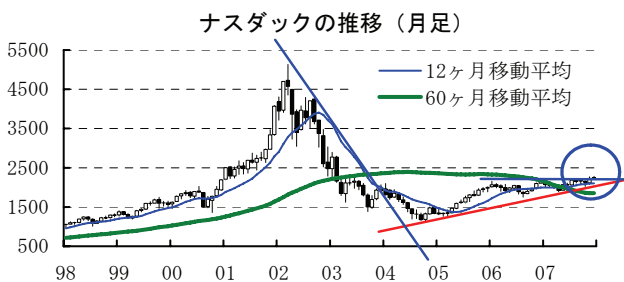
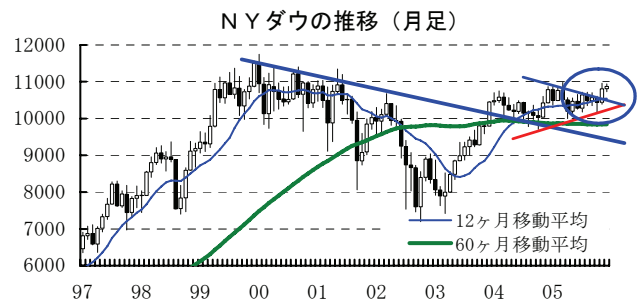
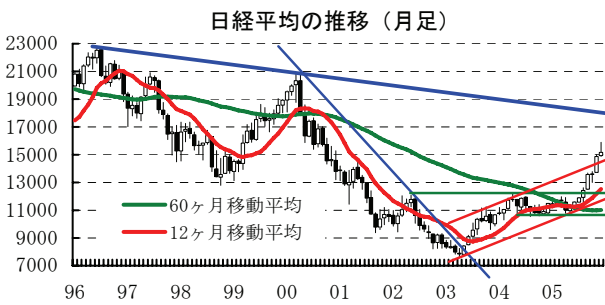
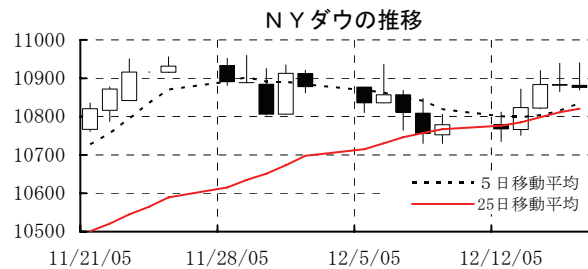
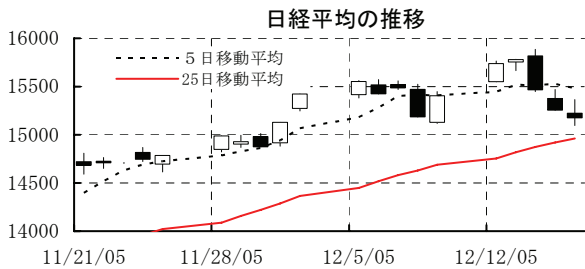


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

【株式市場】

		直近値	直近までの変化率			過去の動き							
						月間						週間	
			1年前～	1月前～	前週末～	6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
日本	日経平均	15173.07	+38.9	+7.1	▲1.5	+2.7	+2.7	+4.3	+9.4	+0.2	+9.3	+4.3	▲0.1
	TOPIX	1580.78	+43.6	+6.4	▲0.7	+2.9	+2.4	+5.5	+11.1	+2.3	+6.3	+3.5	+0.5
	日経店頭	2507.50	+50.8	+8.0	+1.9	+3.9	+3.3	+1.2	+2.0	+5.0	+6.4	+2.9	+2.1
米国	NYダウ	10875.59	+1.6	+1.9	+0.9	▲1.8	+3.6	▲1.5	+0.8	▲1.2	+3.5	▲0.5	▲0.9
	S P 500	1267.32	+5.3	+2.9	+0.6	▲0.0	+3.6	▲1.1	+0.7	▲1.8	+3.5	▲0.2	▲0.5
	ナスダック	2252.48	+5.0	+3.0	▲0.2	▲0.5	+6.2	▲1.5	▲0.0	▲1.5	+5.3	+0.5	▲0.7
	フィデリティ半導体	495.29	+16.0	+7.2	▲0.4	▲2.3	+13.2	▲0.1	+0.3	▲9.0	+11.3	+4.3	▲1.7
イギリス	FT100	5531.60	+16.8	+1.9	+0.3	+3.0	+3.3	+0.3	+3.4	▲2.9	+2.0	+0.1	▲0.2
ドイツ	DAX	5353.66	+26.5	+5.4	+1.4	+2.8	+6.5	▲1.2	+4.4	▲2.3	+5.4	+2.2	▲0.5
欧州	ダウ欧州50	3343.69	+20.0	+2.8	+0.0	+3.5	+3.4	▲0.8	+4.7	▲1.8	+2.0	+1.0	▲0.1
スウェーデン	ストックホルムOMX	943.57	+27.5	+3.4	+0.0	+3.8	+5.0	▲1.7	+5.5	▲1.5	+3.2	+1.5	+1.0
ポーランド	ワルシャワWIG	34821.80	+33.1	+5.5	+1.4	+5.9	+7.5	+3.0	+7.8	▲5.3	+5.9	+3.3	▲0.4
ロシア	RT	1099.36	+93.8	+11.1	+1.6	+4.8	+10.3	+12.9	+14.6	▲7.2	+10.9	+3.7	+0.9
メキシコ	ボルサ	17737.59	+41.8	+8.7	+1.0	+4.0	+6.8	▲1.2	+13.2	▲2.2	+6.8	+1.6	+2.4
ブラジル	ボバスバ	33291.82	+28.9	+9.2	+1.1	▲0.6	+4.0	+7.7	+12.6	▲4.4	+5.7	+2.9	+0.3
アルゼンチン	メルバル	1524.50	+22.3	▲3.8	▲0.7	▲8.0	+10.3	+4.9	+7.2	▲5.1	▲3.4	▲5.3	▲0.5
NZ	ニュージーランドSX50	3281.90	+10.2	▲1.6	+3.1	+7.0	+3.5	▲0.2	+3.0	▲4.3	+0.4	▲0.8	▲3.5
オーストラリア	AS200	4644.00	+16.8	+0.5	+1.4	+4.2	+2.6	+1.3	+4.4	▲3.9	+3.9	▲0.5	▲0.9
香港	ハンセン	15029.81	+7.2	+2.6	+0.8	+2.4	+4.8	+0.2	+3.5	▲6.8	+3.8	+0.8	▲1.9
韓国	総合	1321.04	+51.2	+4.3	+0.3	+3.9	+10.2	▲2.5	+12.7	▲5.2	+12.0	+1.3	+0.6
台湾	加権	6350.69	+5.5	+5.0	+1.4	+3.8	+1.1	▲4.4	+1.4	▲5.8	+7.6	+1.6	+0.6
シンガポール	ST	2325.53	+14.3	+3.2	+0.2	+2.4	+6.3	▲3.3	+1.3	▲3.8	+3.8	+1.6	▲0.5
タイ	SET	691.17	+4.5	+2.3	▲0.9	+1.2	+0.0	+3.3	+3.6	▲5.7	▲2.1	▲1.5	+5.7
インド	ムンバイSENSEX30	9284.46	+44.6	+8.0	+2.4	+7.1	+6.1	+2.2	+10.6	▲8.6	+11.4	+1.2	+1.2
中国	上海A	1185.70	▲13.5	+2.9	+1.3	+2.0	+0.3	+7.3	▲0.7	▲5.4	+0.6	▲1.8	+1.8

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

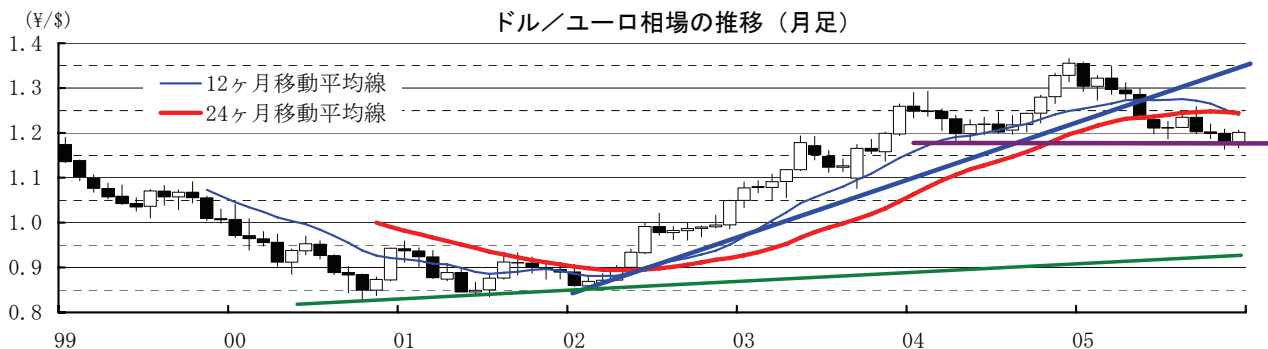
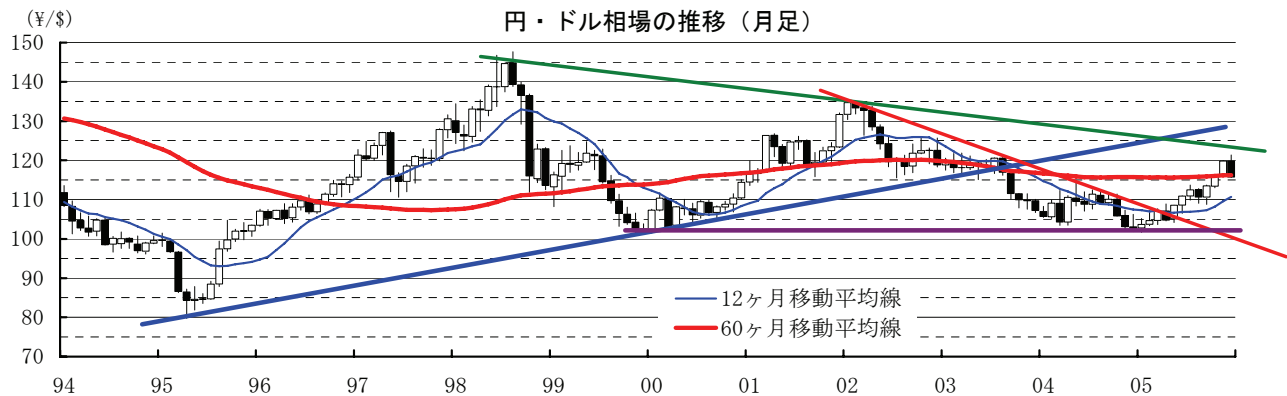
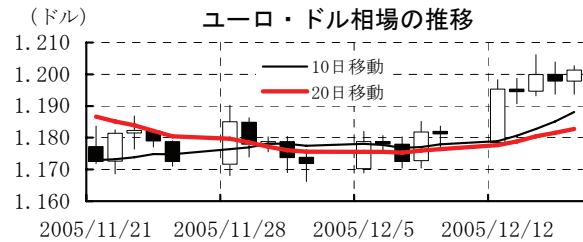
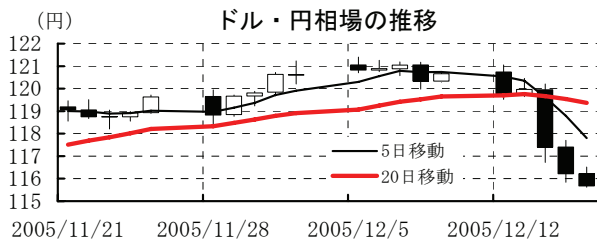


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
		6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前			
日本円	115.67	▲10.4	+3.0	+4.1	▲2.2	▲1.4	+1.7	▲2.6	▲2.5	▲2.9	▲0.8	▲0.1
ユーロ	1.2013	▲9.3	+2.9	+1.7	▲1.6	+0.1	+1.8	▲2.6	▲0.3	▲1.7	▲0.1	+0.8
イギリスポンド	1.7727	▲8.2	+3.3	+1.0	▲1.4	▲1.9	+2.6	▲2.2	+0.3	▲2.3	+1.1	+1.3
スイスフラン	1.2899	▲11.3	+2.7	+1.0	▲2.7	▲0.6	+2.8	▲3.3	+0.4	▲2.1	+0.1	+1.1
スウェーデンクローナ	7.886	▲17.8	+4.4	+1.2	▲5.0	+0.5	+2.7	▲2.5	▲2.8	▲1.5	+0.5	+0.8
ポーランドズロチ	3.227	▲4.1	+5.3	+1.3	+1.4	▲0.6	+3.2	▲0.4	▲1.3	▲0.3	+1.0	+1.0
ロシアルーブル	28.637	▲2.8	+0.9	+0.8	▲1.4	+0.0	+0.5	▲0.1	▲0.3	▲0.8	▲0.3	+0.3
カナダドル	1.1591	+6.1	+2.9	▲0.2	+2.4	+0.1	+2.9	+2.1	▲1.7	+1.4	+0.7	+0.4
メキシコペソ	10.744	+3.9	▲0.7	▲0.9	+1.2	+1.4	▲1.5	▲0.1	▲0.3	+2.1	+1.3	▲1.6
ブラジルリアル	2.337	+14.3	▲6.2	▲3.8	+3.1	▲2.0	+0.9	+5.5	▲1.1	+2.1	+1.1	▲2.0
アルゼンチンペソ	3.036	▲2.0	▲2.9	▲0.9	▲0.2	+0.9	▲1.8	+0.1	▲3.2	+1.2	▲0.4	▲0.9
NZドル	0.671	▲6.6	▲1.9	▲4.6	▲1.0	▲2.4	+2.3	▲0.7	+1.3	+0.4	+1.9	▲1.3
オーストラリアドル	0.7437	▲1.7	+1.8	▲0.9	+0.9	▲0.8	▲0.2	+0.9	▲1.8	▲1.4	+1.7	+0.3
韓国ウォン	1016.35	+4.2	+1.9	+1.7	▲2.6	+0.7	▲0.7	▲0.8	+0.2	+1.7	+0.3	+0.4
台湾ドル	33.164	▲2.3	+1.4	+1.0	▲0.8	▲0.7	▲2.9	▲1.3	▲1.1	+0.1	+0.1	+0.1
シンガポールドル	1.6660	▲1.1	+2.2	+1.0	▲1.1	+1.3	▲1.1	▲0.6	▲0.1	+0.1	+0.3	+0.4
タイバーツ	40.92	▲4.4	+0.6	+0.8	▲1.7	▲0.8	+0.9	+0.6	+0.7	▲1.2	▲0.3	+0.3
インドネシアルピア	9880	▲7.0	+1.3	▲2.0	▲2.5	▲0.5	▲5.0	+0.0	+1.7	+1.0	+0.6	+3.1
インドルピー	45.32	▲3.4	+1.0	+1.9	+0.5	+0.0	▲1.5	+0.3	▲2.4	▲1.9	▲0.8	▲0.1

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。
「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
直近値以外の単位は%。
網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。

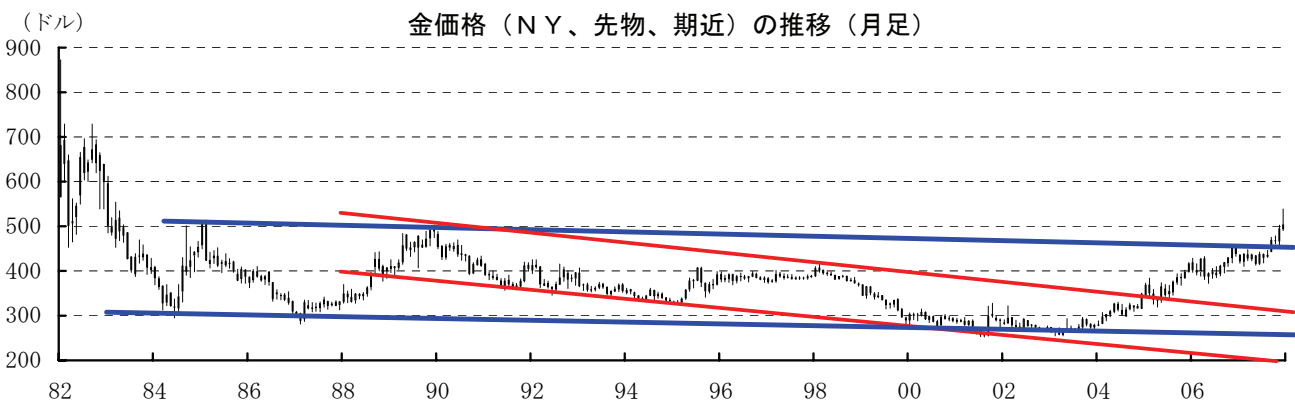
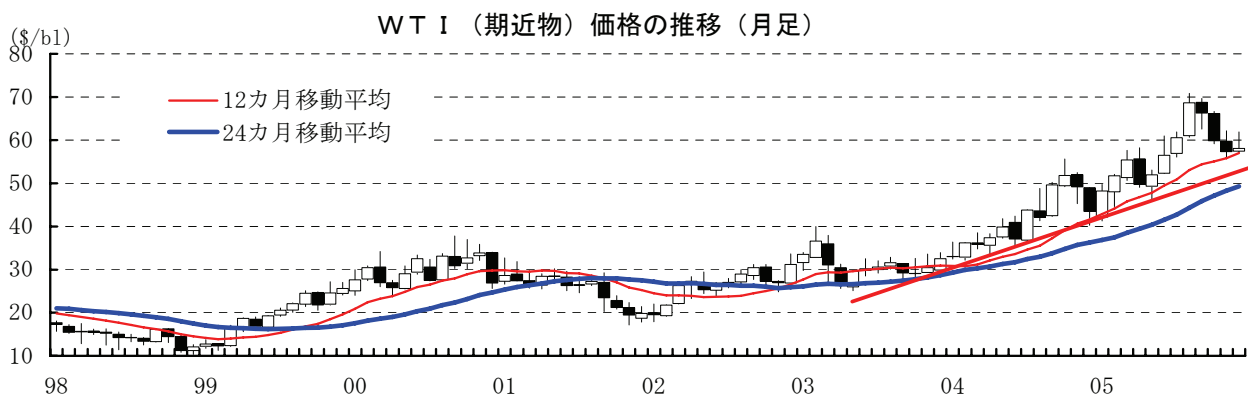
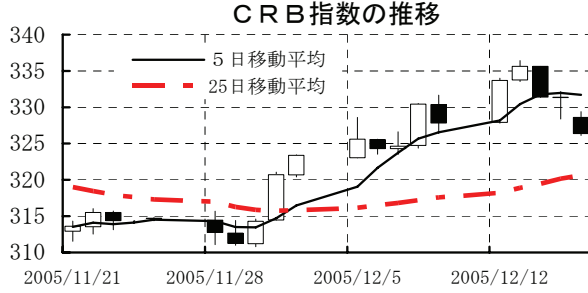
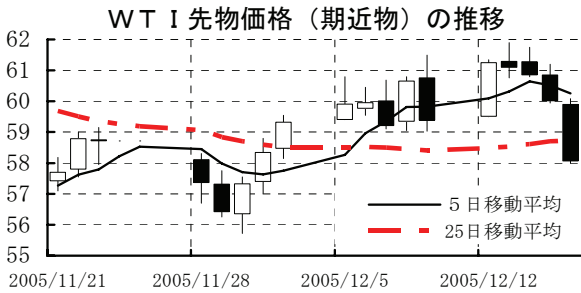


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間前	2週間前
WTI	58.06	+31.4	+0.3	▲2.2	+8.7	+7.2	+13.3	▲3.5	▲9.7	▲4.2	+1.0	+0.1
北海ブレント	57.13	+37.8	+2.0	▲0.3	+9.6	+6.8	+12.9	▲5.3	▲8.5	▲5.2	+3.7	+0.5
ドバイ	54.46	+54.5	+7.8	▲1.4	+17.4	+4.1	+10.8	▲3.8	▲8.4	▲3.8	+3.5	+4.9
OPECバスケット	54.44	+49.3	+8.9	+0.9	+9.3	+4.2	+12.7	▲5.0	▲7.4	▲7.5	+2.9	+4.0
金 (NY)	503.4	+15.2	+5.1	▲4.5	+5.0	▲1.6	+1.2	+7.8	▲0.4	+5.9	+2.5	+4.4
銅 (NY)	216.50	+47.7	+6.4	▲0.7	+3.2	+8.6	+0.9	+5.8	+5.2	+9.4	+0.7	+1.2
アルミ (NY)	103.20	+16.2	+10.7	▲1.3	▲2.4	+8.1	▲0.3	+1.1	+6.1	+7.2	+6.4	+3.4
小麦 (シカゴ)	319.75	+7.5	+4.2	+9.1	▲3.1	+1.9	▲8.0	+14.8	▲8.4	▲4.1	+2.2	▲3.5
大豆 (シカゴ)	191.40	+19.4	+10.4	+5.4	▲3.6	+2.6	▲14.1	▲8.3	+1.5	+1.2	+2.2	+4.5
コーン (シカゴ)	207.50	+2.0	+7.7	+9.4	▲4.4	+11.4	▲14.8	+2.0	▲4.5	▲4.5	+0.0	+0.0
CRB	326.36	+15.3	+3.5	▲0.4	▲0.3	+4.0	+5.6	+1.1	▲5.0	▲0.6	+2.8	+1.4
JOC	117.38	+3.9	+0.7	▲0.4	▲1.4	+0.2	+5.5	+6.7	▲5.0	▲0.2	+0.3	+0.7
日経商品指数 (17種)	117.20	+10.0	+2.1	▲1.1	+0.6	+1.2	+0.3	+1.0	+3.1	+1.8	+1.2	+1.7
日経商品指数 (国際)	110.59	+32.8	+4.3	+0.9	+3.1	+4.5	+2.9	+2.5	▲2.1	▲3.0	+0.3	+3.3

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週間=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 OPECバスケット、日経商品指数(国際)は木曜日、日経商品指数(17種)は水曜日の値。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)商品、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。